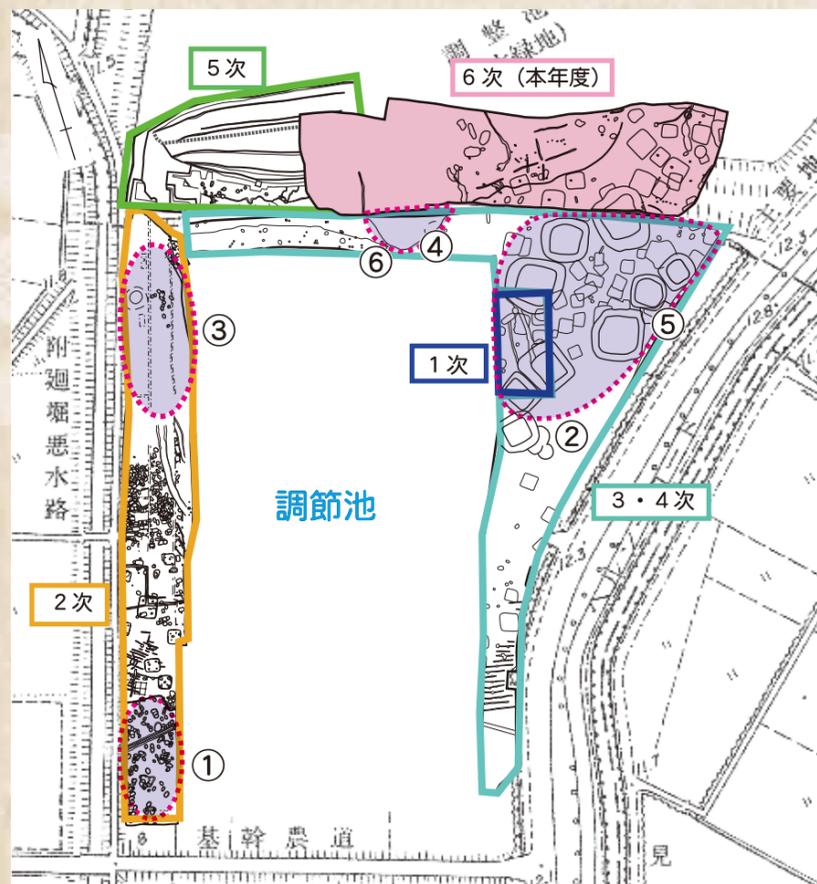


# ここまでわかった！小林八束1遺跡！！



時代	時期	検出遺構や出土遺物
縄文	草創期	
	早期	● 炉穴や土壇が多数つくられる。(写真①)
	前期	
	中期	
	後期	● 竪穴住居を伴う集落が営まれる。(写真②) ● 遺跡北西に盛土遺構が造られる。(写真③)
弥生		
古墳	前期	● 谷をのぞむ台地の縁辺に集落が営まれる。 ● 谷には木組み(写真④)が造られる。 ● 居住域の一部に方形周溝墓群(写真⑤)が造られる。 ● 集落の廃絶。木組みを含む谷部に多量の木材・木製品が廃棄される。(写真⑥)
	中期	
	後期	● 5世紀末、谷に榛名山ニツ岳火山灰が堆積する。
飛鳥 奈良 平安		● 天仁元年(1108)、浅間山噴火。谷に火山灰が堆積。谷はこの頃にはおおむね埋まり切る。
鎌倉 室町 安土桃山		● 埋まりきった谷に小規模な溝が造られる。 ● 度重なる洪水により遺跡は1.5mほど埋没。
江戸		● 天明三年(1783)、浅間山噴火。堆積土上部に軽石が堆積。

平成29年度 第4回遺跡見学会 平成30年1月28日(日)

## 谷をのぞむ古墳時代のムラ

おばやしはっそく

# 久喜市 小林八束1遺跡(第6次)



南から見た小林八束1遺跡



小林八束1遺跡は、大宮台地と加須低地の接する地域に位置しています。小林調節池の改修工事に伴い、これまでに5回の発掘調査が行われました。

今回の調査では、古墳時代前期の竪穴住居跡や方形周溝墓が見つかり、谷には多数の木材や木製品が残されていることがわかりました。

また古墳時代前期の遺跡の下には、縄文時代後期の遺構や遺物が見つかっています。

## 小林八束1遺跡周辺の遺跡

● 縄文時代の遺跡 ● 古墳時代の遺跡  
● 縄文・古墳時代の複合遺跡

1. 小林八束2遺跡 2. 丸谷下遺跡 3. 神ノ木1遺跡 4. 神ノ木2遺跡 5. 九宮1遺跡 6. 九宮2遺跡  
7. 栢間小塚遺跡 8. 神明神社東遺跡 9. 後谷遺跡 10. 修理山遺跡 11. 小沼耕地遺跡 12. 地獄田遺跡

主催/埼玉県教育委員会・公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団  
共催/久喜市教育委員会



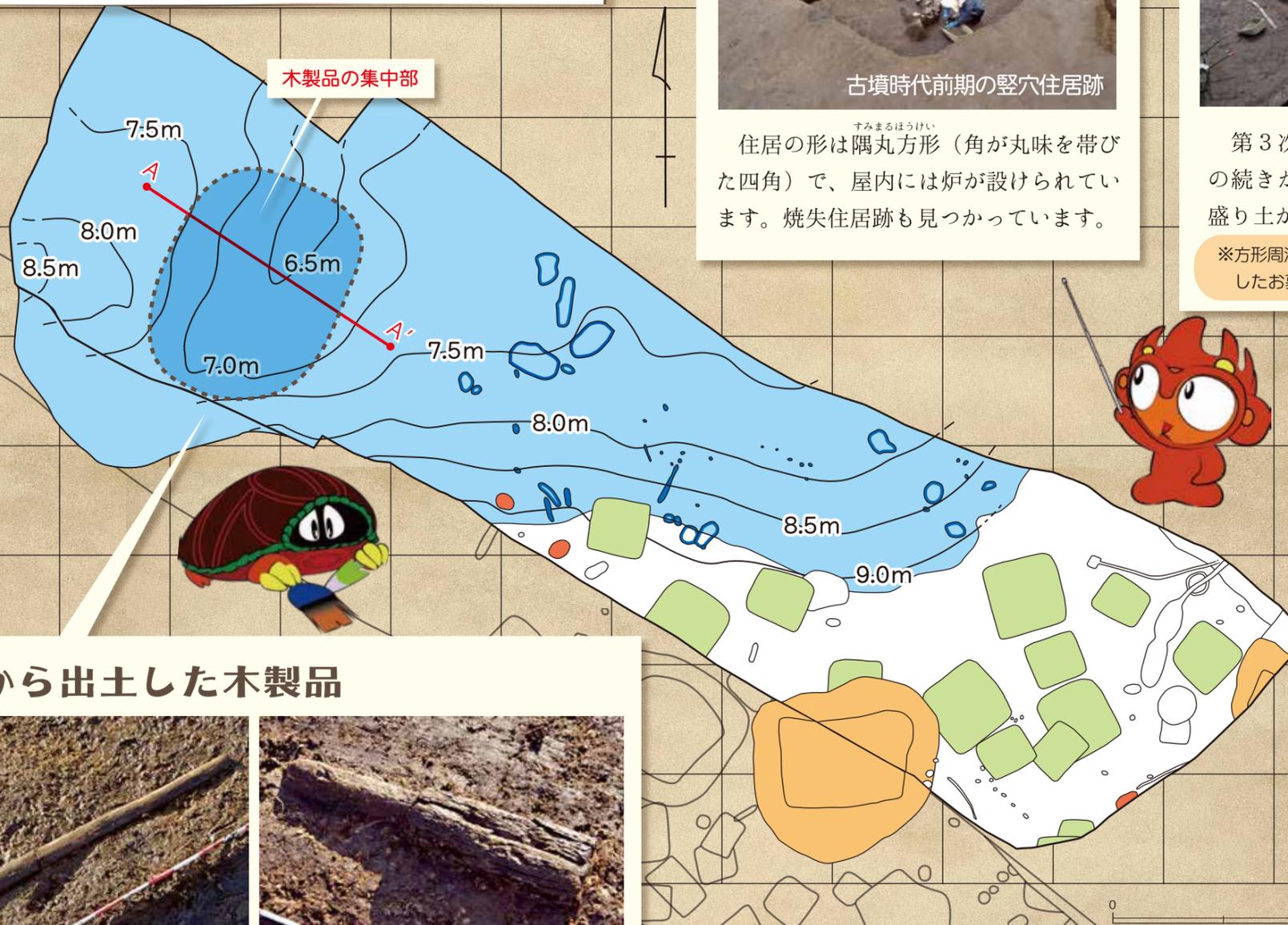
谷の調査風景



木製品の検出状況

谷には多数の木製品や木材が腐らずに残されていました。

古墳時代前期の竪穴住居跡や方形周溝墓は東側の台地上に分布し、西側の谷のもっとも深い地点から、木製品を含む多数の木材がまとまって出土しました。また縄文時代後期（約4,000年前）の土器を含む土層は、谷の全域に広がっています。



古墳時代前期の竪穴住居跡

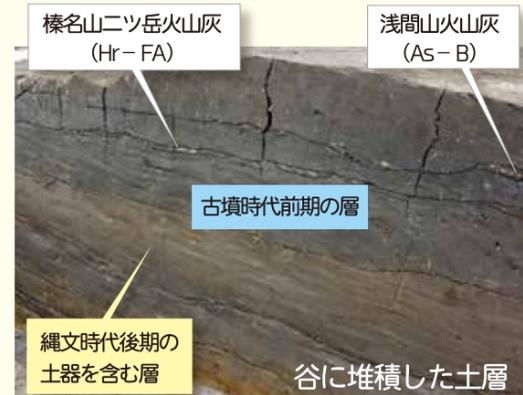
住居の形は隅丸方形（角が丸味を帯びた四角）で、屋内には炉が設けられています。焼失住居跡も見つかっています。



方形周溝墓の調査風景

第3次調査（裏面参照）で発掘した方形周溝墓の続きが見つかりました。周囲を巡る溝の内側に盛り土が残っていました。

※方形周溝墓…四角く溝（周溝）をめぐるせ、その内側に盛り土をしたお墓で、弥生時代から古墳時代にかけてみられます。



5世紀末頃に噴火した榛名山ニツ岳の火山灰や天仁元年(1108)に噴火した浅間山の火山灰が確認されました。中間のやや明るい層には、縄文時代後期の土器片が含まれています。

### 古墳時代の谷から出土した木製品



すき 鋤



農耕具の柄か (63 cm)



よこづち 横槌 (39 cm)

### 谷に堆積した土層

